

食中毒事件発生情報 第11号

○広島市で食中毒が発生しました。

発表日	発生場所	原因施設	原因食品	病因物質	概要
1/24	広島市中区	飲食店	食事 (牛・かきの美酉鍋等)	ノロウイルス	1月20日に当該施設で提供された食事(牛・かきの美酉鍋、焼きガキ、焼肉等)を喫食した1グループ4名全員が下痢や発熱、嘔吐等を発症、患者便からノロウイルスを検出。
2/23	広島市西区	食堂 (社員寮)	食事 (とんかつ、サラダ等)	ノロウイルス	2月19日に当該施設で提供された食事(ご飯、とんかつ、サラダ、和え物等)を喫食した33名が下痢や発熱、嘔吐等を発症。患者便及び従事者便からノロウイルスを検出。

○平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 1 月 31 日までに全国で次のような食中毒事例が発表されています。

発表日	発生場所	原因施設	原因食品	病因物質	概要
1/15	神奈川県相模原市	給食施設 (福祉施設)	食事 (味噌汁、サラダ等)	ノロウイルス	1月9日に当該施設が提供した朝食(ごはん、みそ汁、スクランブルエッグ、サラダ等)を喫食した入居者23名が嘔吐や下痢、発熱を発症。患者便及び給食の保存食の一部からノロウイルスを検出。
1/20	大分県宇佐市	家庭	ショウサイフグの皮(推定)	フグ毒 テトロドトキシン (推定)	知人から譲り受けたフグを自宅で調理し、皮と身を味噌汁などで喫食した2名が唇のしびれや四肢の脱力感、起立困難等の症状を呈し、救急搬送された。フグは皮が有毒部位のショウサイフグであると推定された。
1/20	千葉県千葉市	飲食店	弁当・食事	ノロウイルス	1月3日及び4日に当該施設で調理、提供した食事もしくは弁当を喫食した114名中40名が嘔気、悪寒、下痢等を発症。患者及び従事者便からノロウイルスを検出。
1/22	静岡県静岡市	家庭	茹でたクワズイモ	植物性自然毒 (シュウ酸 カルシウム)	1月18日に自宅の庭に生えていたクワズイモを茹でて喫食した1名が、口腔及び口唇の痛みや痒み、頬の腫脹、嘔吐を発症。
1/22	和歌山県田辺市	飲食店	食事 (鶏刺し等)	カンピロバクター	1月16日に当該施設が提供した食事(鶏刺し、鶏鍋等)を喫食した7名中5名が腹痛や下痢、発熱等を発症。患者便からカンピロバクターを検出。
1/23	長野県上水内郡	ホテル	食事 (カレーライス、サラダ等)	ノロウイルス	1月13日から14日にかけて当該施設に宿泊し食事(カレーライス、サラダ等)を喫食した1グループ350名中86名が腹痛、嘔吐、発熱等を発症。患者及び従事者便からノロウイルスを検出。
1/26	奈良県奈良市	飲食店	食事 (鶏刺し、鶏の焼肉等)	カンピロバクター	1月17日に当該施設が提供した食事(鶏刺し、鶏の焼肉等)を喫食した6名が下痢や発熱、腹痛等を発症。患者便からカンピロバクターを検出。

※ 広島市食品安全情報センターニュースはホームページにも掲載しています。

広島市ホームページで [広島市食品安全情報センターニュース](#) と検索してください。

病因物質が調査中であつたり、患者数等が変わる場合があります。

広島市食品安全情報センター(広島市保健所 食品保健課) 電話: 241-7437